

3/16 困難を乗り越え、未来に向かってー 白鷹中学校で卒業証書授与式

白鷹中学校ではこの日、卒業証書授与式が行われ、97名の生徒たちが3年間過ごした学び舎を巣立ちました。

今年の卒業生は、新型コロナウイルス感染症の影響で、特別な1年間を過ごしてきました。数々の制約がある中で学校生活を過ごし、部活動に勤しんできた生徒も、地区大会や県大会などの中止により、これまでの成果を発揮する場を失いました。それでも、その困難を乗り越えて今日の門出を迎えた卒業生たち。その姿は堂々としており、とてもたくましく見えました。卒業証書を手にし、これからの夢に向かって頑張ることを誓いました。



笑顔で卒業証書を受け取る生徒

3/17 甘くて美味しいイチゴをパクリ！ 町内産イチゴを給食で味わう

3月から4月にかけて、学校給食の献立で「白鷹のいちごウィーク」が開催され、町内各小学校の児童と白鷹中学校の生徒たちは、町内産のイチゴを味わいました。

このイベントは、地産地消の推奨を図っている学校給食で、町内で栽培された旬のイチゴを子どもたちに味わってもらいたいと、毎年企画されているものです。提供されるイチゴは、すべて白鷹産直市場どりいむ農園で栽培されたものです。

真っ赤に熟した大粒のイチゴに目を輝かせる児童たち。一口食べると口の中に甘さが広がり、「とてもおいしい！」と、嬉しそうにかがりつきました。



とても甘くて美味しかったと好評でした

郷土資料館が完成しました！

正式名称は
「白鷹町歴史民俗資料館」に決定！

令和2年9月から旧十王地区コミュニティセンターを改修し、整備を進めてきました資料館が3月に完成しました。現在、オープンに向けて着々と準備を進めています。

資料館には、常設展示室、企画展示室、古文書閲覧・保管室、考古資料保管室、資料撮影室を設け、道向かいに資料や絵画の保管倉庫を新築しました。

民具をはじめとするさまざまな資料を見て、触れて、動かして、楽しみながら学べる施設として、みなさんに親しんでいただける施設を目指します。展示内容や開館時間など、詳しいことは町報6月号でお知らせします。



TOPICS

トピックス

&

まちのホットな話題
をお届けします！

スポーツ

SPORTS

3/1 4年後、この故郷でまた会おう！ 蚕桑小学校で鮭の放流活動

蚕桑小学校2年生の児童たちはこの日、高玉地内の大鮎貝川で鮭の稚魚を放流しました。

この活動は、大鮎貝川に鮭を呼ぶ会（今野國善会長）に協力をいただき7年前から実施されています。鮭は川から一度海へと向かい、4～5年後に故郷の川へと戻る習性があると言います。子どもたちは、稚魚を川へと優しく放流すると、「元気でね！また会おう！」と声をかけ、下流へと元気よく泳いでいく様子を温かく見守っていました。

鮭の放流活動を行っている小学校は県内でも少ないと言います。地域の川に、たくさんの鮭が泳ぐ姿を夢見て、今後もこの活動が行われていきます。



川の水に少しずつ慣らしながらやさしく放流する児童たち

3/9 かわいい1年生になってね！ よつばこども園園児にミニランドセル

十王地区を拠点に活動しているクラフトクラブ「あみあみこみゅ（高橋陽子代表）」から、よつばこども園の年長児に、クラフト紙で制作したミニランドセルが送られました。

この活動は今年で6年目を迎えます。「コロナに負けない元気でかわいい1年生になってほしいという思いを込めて、ひとつひとつ手作りしました」と語る高橋さん。受け取った園児は、色とりどりのミニランドセルに目を輝かせ、「ありがとうございます。かわいい1年生になります」と元気にお礼の返事をしました。同クラブの皆さんは、その後にオカリナの演奏も披露し、園児たちは心を躍らせていました。



高橋さんからミニランドセルを受け取る園児たち